



平成 18 年 3 月期 通期業績予想の修正（連結・個別）及び期末配当予想の修正に関するお知らせ

平成 18 年 2 月 23 日

会社名 アルゼ株式会社

(JASDAQ・コード番号：6425)

(URL <http://www.aruze.com>)

代表者役職名 代表取締役会長兼社長

氏名 岡田 和生

問合せ先 責任者役職名 執行役員管理本部長

氏名 小林 輝彦

TEL：03-5530-3055（代表）

平成 17 年 11 月 15 日付当社「平成 18 年 3 月期中間決算短信（連結）」及び同日付当社「平成 18 年 3 月期個別中間財務諸表の概要」において発表いたしました平成 18 年 3 月期（平成 17 年 4 月 1 日～平成 18 年 3 月 31 日）の業績予想及び配当予想を、下記のとおり修正いたします。

記

1. 平成 18 年 3 月期の業績予想（平成 17 年 4 月 1 日～平成 18 年 3 月 31 日）

<連結>

	売上高	経常利益	当期純利益
	百万円	百万円	百万円
前回予想 (A)	100,500	7,500	100
今回修正 (B)	53,100	△5,200	△11,800
増減額 (B-A)	△47,400	△12,700	△11,900
増減率	△47.2 %	— %	— %

<個別>

	売上高	経常利益	当期純利益
	百万円	百万円	百万円
前回予想 (A)	75,300	7,000	200
今回修正 (B)	42,100	△1,600	△9,500
増減額 (B-A)	△33,200	△8,600	△9,700
増減率	△44.1 %	— %	— %

【業績予想に関する定性的情報等】

①個別概況

当期年度におきましては、全く新しいパチスロ機である5号機への市場の反応が遅れた点、そして、当社は1月以降に新台販売からレンタルシステムへのビジネスモデルを大胆に変更したこと等により、パチスロ機の通期売上計画には大幅な下方修正が必要となり、上記の通り通期業績予想を変更致しました。尚、第4四半期のパチスロ販売台数は現時点で約6万4千台を計画しております。

当社は5号機認可取得以降の昨年末より、「アルゼが創る5号機新時代」と命名し、業界誌・攻略誌・当社ホームページ等、様々な媒体に5号機の特徴につき積極的に発言して参りました。更に、1月に入り「5号機パチスロレンタルキャンペーン」を開始し、現在も業界誌・攻略誌での広告に加え、テレビ・ラジオで「パチスロ・キューティーハニー」の告知CMを放送し5号機によるパチスロ市場拡大を目指し宣伝活動を積極的に行っております。

5号機はその特性上4号機に比べ射幸性は低く抑えられ、又、出玉の波も穏やかとなっております。そのため、5号機は4号機の延長線上にある機械ではなく、全く別物と考える必要があります。つまり、5号機は新しいパチスロプレイヤーを開拓出来る遊技機です。当社は昨年10月、11月に5号機を市場に投入し他社に先駆けて販売活動を実施した結果、5号機がどのようなホールでこそ利用されなければならないかその傾向を分析して参りました。5号機は4号機のプレイに慣れたプレイヤーにはその射幸性の面で物足りなさを与える特性ながら、一方で4号機以前のオールドファン、そして全く新しいファンに向けた、その意味で大衆に受けるマシンなのです。

今年中にはパチスロ市場は5号機に転換されます。パチスロ市場は現在大きな転換点にあります。そしてその転換を少しでも先延ばししたいという空気があったのも事実ではありましたが、今、5号機への注目度は日々高まり、当社として先行きに対し自信を持てる段階に来ております。来年度は市場の20%程度の獲得を目指し活動出来る素地が整いつつあります。

当社は今後の5号機隆盛を支えるのは豊富なタイトルの品揃えであり、プレイヤーに常に新しいエンターテインメントを与えるものでなければならない、そして、これにより新しいプレイヤー層の開拓が可能になると考えております。その中、当社は世界初と言えるパチスロとミュージックを融合したパチスロ5号機「ロックユークイーン」の認可を取得しました。収録楽曲数は14曲と圧倒的なクイーンの名曲が盛り込まれた画期的なパチスロの登場であり、真に5号機時代の到来を実感させるものになると確信しております。

当社は、5号機の市場への浸透を加速させる為、長年温めてきた筐体レンタルとソフト販売を組み合わせた革新的なレンタルシステムによるビジネスモデルをこの1月に発表し、現在キャンペーンを実施中です。本日現在累計で10タイトルの認可を取得しましたが、今後も順次新たなタイトルの開発を進め、この革新的なレンタルシステムにより、常に豊富なソフトを安価で継続的に提供したいと計画しております。

5号機は射幸性が低く抑えられた結果、従来以上にマシンの入替サイクルが早まる事が予想され、ホール経営によるマシン購入コストの増加が懸念されます。しかし、当社のレンタルシステムは従来の新台1台販売価格と同程度の費用で、年数回のタイトル入替が可能であり、ホール経営コストの大幅削減に寄与出来ると自負しております。短期間でのタイトルの入替は可能であり、プレイヤーを飽きさせないラインアップの提供は、新規プレイヤーの獲得、そして、プレイヤー人口増加の起爆剤になるものと言えます。

一方、パチンコ機の販売につきましては、パチスロ機の市場への浸透が図れることが見極められた段階

で、再度拡販に努める計画です。

②連結概況

上記個別の修正に加え、上場子会社である株式会社セタにおきましても遊技機関連事業及び通信関連事業の売上高の減少により売上、利益共に前回予想を下回る見込みとなったため、連結業績予想に反映致しました。

これらの状況を勘案し、平成 17 年 11 月 15 日付当社「中間決算短信（連結）」にて発表した通期業績予想を修正することと致しました。

2. 期末配当予想

上記の状況を鑑み、当初 1 株当たりの期末配当金を 30 円と発表しておりましたが、今回 20 円と修正させていただきます。

以 上